

歴史(明治時代⑦・憲法編)

自由民権運動は、政府の弾圧や民権派が関係した激化事件が起こったため停滞していた。一方政府は、憲法を制定するため①_____自らヨーロッパに留学して、②_____権の強いドイツ(プロイセン)などで学んだ。帰国後、1885年に③_____制度ができると、初代の④_____に就任した。そして⑤_____年月日、天皇が国民にあたえるという形で⑥_____が発布された。この憲法では、主権が⑦_____にあるとされ、⑧_____院と⑨_____院からなる⑩_____の召集や条約の締結などが⑪_____の権限として明記された。一方、国民にもさまざまな権利が認められたが、選挙権があたえられたのは⑫_____直接国税 円以上おさめる満 _____歳以上の _____だけだった。また、憲法発布の翌年には⑬_____が出され、忠君愛国の道徳が示され教育の柱とされた。

